

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2023年6月4日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌30「朝風静かに吹きて」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌213「みどりの牧場に」	一 同
教会学校	絵 本 「 神 様 の 国 」	牧 師
讃 美	讃美歌520「静けき河の岸边を」	一 同
聖書朗読	使徒行伝4:23-26	
奨 励	使徒行伝の福音(第14回)	牧 師
主 題	「讃美と祈りの力」	
讃 美	讃美歌512「わが魂の慕いまつる」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌541「父、御子、御霊の」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	ホセア書第一章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

6/4(日)聖日礼拝
/5(月)
/6(火)
/7(水)10-12:00BSクラス 13:30牧師祈会
/8(木)10:00祈り会
/9(金)
/10(土)13-16子供オプンハウス



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に來れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

静思の時の為に

ヘブル書 Devotion 第2回

「イエスが私たちと同じように」

(ヘブル2:10-18)

あなたにとってイエス様はどのようなお方ですか？いろいろな答があると思います。私の主、救い主、キリスト、真理、光…。全部正解です！でも、聖書を知らない人には不思議な答えに思われることでしょうね。

では、主イエスは私達を何と呼んでおられるのでしょうか？今日の聖書箇所には、私達をご自分の「兄弟と呼ぶことを恥としない」と書かれています(11節)。これはむしろ“誇っている”という意味です。自分のような者がイエス様の誇る兄弟姉妹？と思うでしょうか。10節が答えています。主イエスが「救いの創始者」として十字架の贖いの御業を成し遂げたのは、実に私達を救うためだったと記されています。この事を信じる人に与えられる様々な特権が次に挙げられています。

第一に、神の家族の兄弟姉妹とされることです。なぜなら「聖とする方(キリスト)も、聖とされる者たち(私たち)も、みな一人の方(神様)から出てい」る神の家族だからです(11節)。

第二に、父なる神をアバと呼ぶ特権です。「わたしは御名を、わたしの兄弟たちに告げよう」とあります(12節、詩篇22:22)。イエス様は祈りを捧げる時「アバ」と呼び掛けて祈り始めました(マルコ14:36)。「お父ちゃん」を意味するこの言葉は、当時の人々にとって、父なる神への冒瀆にも響く、驚くべき親愛(13節前半)を表す呼びかけの御名だったのです。

第三に、解放の約束です。「見よ。わたしと、神がわたしに下さった子たち」(13節後半)は何か尻切れトンボのような感じを受けますが、出典となっているのはイザヤ8:18,19で、直接にはイザヤの二人の息子を指しています。第一子の名前シェアル・ヤシュブ(イザヤ7:3)の意味は「残りの国民が帰って来る」、第二子のマヘル・シャルル・ハシュ・バズ(イザヤ8:1)は「分捕り物はすばやく、獲物はさっと(持ち去られる)」という意味です。これは敵であるダマスコとサマリヤがユダから掠奪した分捕り物はすばやくアッシリヤによって持ち去られるという、後に起きる出来事の命名預言です。イザヤという名前が「神はご自分の民を救う」という意味である事を総合すると、“神がご自分の民を救うとき、敵は間もなく滅び、残りの民が帰ってくる”という素晴らしい解放預言がこの短い引用句に込められていることとなります。

14節は御子の受肉をさり気なく語りますが、受肉は測り知れない神の愛を表しているのです。なぜなら、人間がどんなにベツを可愛がったとしても、その愛玩動物のようになりたいとは思わないことでしょう。しかし、神の御子イエスは私たちと同じ「血と肉」をとり、人間の喜怒哀楽のすべてを共にしたばかりか、十字架によって私たちの罪を贖う苦難の御業を成し遂げて復活されました。「イエスは、自ら試みを受けて苦しまれたからこそ、試みられている者たちを助けることができるのです」との18節のみことばは、人間に対する神の御子の大いなる愛を語っているのです。